

# 「大館のために結集」

首都圏大館ふるさと会設立10周年

市長レポート No.253



首都圏大館ふるさと会は、今年で10周年を迎えます。その母体となったのは、市内の各高等学校の同窓会組織でした。まず各高等学校の在京OBの方々に集まりいただき、ふるさと会の設立をお願いしました。その結果、初代会長に竹村堅次さんを迎え、平成6年11月に発足しました。

その設立総会時に「ふるさととは、二つあるような気がします。一つは現実の大館。そしてもう一つはふるさと。皆さんの心の中にある、誰にも汚されることのない、大切なふるさと。ふるさと会設立の目的は、現在の状況を理解していただくこと、心の中のふるさとをイメージを膨らませてもらうことです。今のふるさと会はこうなっていますよ、がんばっていますとお伝えしながら、そして、ふるさとの味きりたんぼを食べ、旧友と逢い、思い出話しに花を咲かせることで、心の中のふるさとを大切にしたい」とあいさつしたことを覚えています。

さて、設立当時の平成6年は、大館の鉱山が閉山になった年でした。これから先どうしようかと考えた時に、蓄積された鉱山技術を応用してのリサイクル事業を検討することとなり、大館出身在京経済人の方々を中心とし、平成6年2月に東京でリサイクル・マイン・パーク構想のシンポジウムを盛大に開催しました。これがまさに今の大会のリサイクル産業の原点だと思えます。結果、今ではリサイクル産業は大館の産業の重要な地位を占めることとなりました。また、大館出身在京経済人の方々には、企業誘致協力員として、親身になって情報提供をいただきました。これも、今の企業誘致の礎となるものです。

さらに、忠犬八子公の縁で大館市と渋谷区との交流が深まり、大館始まって以来となる渋谷郵便局での「大館フェア」の開催や「渋谷区くみんの広場」への参加ができたのは、ふるさと会の皆さんのご協力のおかげです。首都圏で開催する、あらゆるイベントには、いつもふるさと会の方々が、ボランティアで協力してくれています。もし、ふるさと会の方々のお力が必要ならば、こんなにうまくいかなかったのではないかと思います。

労力を惜しまず「大館のために何かしたい」という気持ちにあふれ、献身的に働く皆さんに、本当に感謝しています。

現在大館に住んでいる私たちと、今は大館を離れているけれども、大館出身の方々。これら二つの力が一つに結集するときに、すばらしい大館の未来が開けていくので

はないかと考えます。両者の願いはただ一つ「大館を良くしていきたい」ということに尽きます。これから大館発展の願いを胸に、市民の皆さんを始め、ふるさと会の方々と心をつなげて、大館の未来づくりに全力を尽くします。

小畑 元

## 第10回 首都圏大館ふるさと会総会

首都圏で活躍されている方々が集う、首都圏大館ふるさと会の総会と懇親会が開催されます。

ふるさと大館からの参加者を募集しています。住所、氏名、年齢、地区名、電話番号を記入の上、はがきまたはFAXで11月10日(月)までお申し込みください。

とき・11月16日(日)

11時～15時  
ところ・ホテルグランドパレス  
(東京都千代田区  
飯田橋1-1-1)

### 内容

文化講演会(土橋正幸氏・プロ野球マスターズリーグ「東京ドリームス」監督)、総会、懇親会  
会費(中学生以下無料)  
男性・9,000円



昨年の総会での「鏡開き」

女性・8,000円  
夫婦一組・15,000円  
学生・3,000円  
申し込み先・〒102-0072  
東京都千代田区飯田橋2-16-3  
金子ビル1階  
マルコー企画印刷(有)内  
首都圏大館ふるさと会事務局  
FAX 03 3556 0303  
TEL 03 3111 (内線283)